

第2回「戦争孤児たちの戦後史研究会」実施要項

2016年12月1日

研究会のご案内

戦後71年が過ぎ、戦争孤児の方々をめぐる戦後の状況について、最近ようやく研究の光が当てられるようになってきました。この時期に、埋もれている史料の発掘、戦争孤児の方々への聴き取りも含めて、全国の戦争孤児たちの戦中・戦後史の研究を本格的にすすめたいと願っています。

戦争が起これば、戦争孤児が生み出されるという冷厳な事実を確認しながら、二度と戦争孤児をつくらないという決意のもとに、本研究会を発足いたします。いまの時代に必要な研究課題ではないでしょうか。

各地で研究をすすめている方々と全国を巡回しながら研究会を開催し、全国の戦争孤児の戦後史研究をすすめていきたいと願っています。ぜひ多くの方が参加をしていただくことを心から願っています。

本会の発足の会は2016年11月26日、立教大学（東京都）にて行いました。第2回は下記のように京都市（大善院）で開催します。大善院では戦争孤児の遺骨・遺髪が発見され、そのこともあり昨年「せんそうこじぞう」が建立されました。京都でお会いすることを楽しみにしています。

記

日時:2017年3月4日(土)14:00~17:00

場所:真宗仏光寺派大善院

〒600-8084 京都府京都市下京区新開町 397-9 電話 075-351-4883

※大善院内の「おてらハウス」で昼食ランチがあります。

主催:戦争孤児たちの戦後史研究会

連絡先 立教大学コミュニティ福祉学部教授 浅井春夫 研究室

090-5789-8371 hachak@maple.ocn.ne.jp

内容:開会あいさつ(せんそうこじぞうの会・川崎泰一)

視聴 NHK ならびに KBS で放映された京都の戦争孤児に関する DVD

報告 「大善院で発見された戦争孤児の遺骨・遺髪」(住職 佐々木正祥)

報告 「せんそうこじぞう建立の経過」(せんそうこじぞうの会・石沢春彦)

